

お茶の水女子大学「プロジェクトマネジメント特論」

技術開発管理者から見た我が国の組織の運営状況

講師：天野 玲子

元 鹿島建設(株)

現 東日本旅客鉄道(株)

現 (株)横河ブリッジHD

現 (株)ゆうちょ銀行

知的財産部長

取締役

取締役

取締役



2023年度お茶の水女子大プロジェクトマネジメント特論として、2023年6月14日（水）に、「技術開発管理者から見た我が国の組織の運営状況」と題し、58名の学生を対象に講義を行った。

講義の内容

女性土木総合職第一号として鹿島建設に在籍し、定年退職後は国立研究開発法人(防災科学技術研究所審議役、国立環境研究所監事、日本原子力研究開発機構監事)や企業の社外取締役の業務に携わっている。

長年、技術開発管理に従事した視点で、国、独立行政法人、企業等の運営状況等について述べ、今後活躍するであろう学生達へエールを送った。

① 自己紹介として自分の持つキーワードを紹介

「黒部の太陽」から土木を目指した経歴を通して、自身のキーワードである建設、防災、技術開発管理、安全管理について紹介した。

② 日本の基盤研究開発と実用化研究開発の現状について

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)について紹介した。

③ 日本インフラの現状とこれからのインフラのあるべき姿

④ これまでの経験から得た社外取締役の役目

自身のモットーである「空気を読まない」「勿体ないを考える」を紹介した。

⑤ これから活躍する人特に若い女性に求めたいこと

自分の価値判断基準(キーワード)、広い視野、目指すべきものを持つことが大事だと示した。

最後に

学生達からは非常に多くの意見と質問を頂いた。特に、女性で初めて土木分野に進んだ事、子育てしながら仕事を全うした事に多くの意見が寄せられた。また、就活が近いこともあって、基盤研究開発と実用化研究開発との関連や、インフラの状況についても注目が集まった。更には、定年退職後、孫達の将来のために仕事をしていることに対しては非常に共感が得られたようである。